

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ① 調布市立小・中学校の児童・生徒における学力・学習状況を把握し、施策の改善・充実に生かす。
- ② 調布市立小・中学校教職員が、本調査の結果を踏まえ、授業改善に役立てる。

### (2) 調査日と調布市対象児童・生徒数

- ① 令和4年4月19日(火)
- ② 小学校 20校 第6学年 1,780名  
中学校 8校 第3学年 1,478名

### (3) 調査内容

- ① 教科に関する調査  
小学校：国語、算数、理科  
中学校：国語、数学、理科
- ② 質問紙調査  
「学習意欲」「学習方法」「学習環境」「生活の諸側面」等に関する調査

## 2 調布市教育プランとの関連

### (1) 施策及び主な取組

- 施 策 2 【確かな学力の育成】** <主要事業 5 基礎的知識・技能、学習満足度の向上と学ぶ意欲の育成>  
 主な取組 ○ 一人一人の児童・生徒の主体性を育み、少人数・習熟度別指導等による確かな学力の育成  
 ○ タブレット端末等、ICT機器の計画的な整備・活用による学習活動の充実
- 施 策 5 【魅力ある学校づくりの推進】** <主要事業 1 8 教職員の指導力・人権意識の向上>  
 主な取組 ○ 新たな学習指導要領に対応した「授業改善推進プラン」に基づく取組の推進

### (2) 成果指標 (令和2年度全国学力・学習状況調査は未実施のため令和2年10月に実施したアンケート調査からの参考値とする)

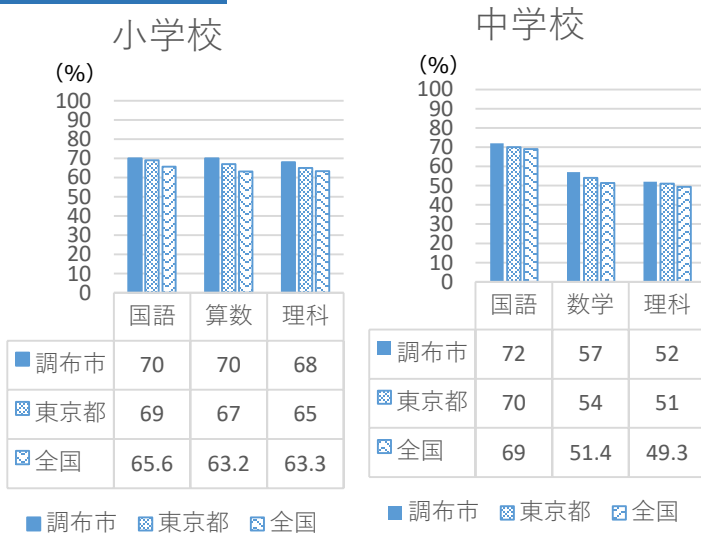
「自分たちで課題を立て、話し合いながら学習活動に取り組んだ」と回答した児童・生徒の割合 ※全国学力学習状況調査質問紙調査	校種	R4 目標	基準値	R1	R2	R3	R4
	小学校	80%	78.6%	71.1%	77.9%	78.5%	77.1%
中学校	80%	74.6%	65.8%	78.8%	78.7%	77%	

### (3) 教育委員会の取組

- 「カリキュラム・マネジメント」の実現、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ・ 教科等横断的な視点に立った校内研究及び研修の推進
- ・ 1人1台タブレット端末を活用した授業づくりの推進
- ・ 学習指導要領の着実な実施・徹底・指導
- ・ 授業改善に向けた校内研究の充実及び研究推進校等の成果の普及

※成果指標については、平成31年度から削除されたため、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の合わせた平均値とする。

## 3 平均正答率



### 調布市の傾向

教科の平均正答率は全国及び東京都を上回っている。  
 回答の傾向として、記述式の問題では全国や東京都よりも無回答率が低い傾向にある一方、選択式の問題では全国や東京都よりも無回答率が高い傾向がある。特に小学校国語及び小学校理科において、無回答率が高い傾向にある。

## 4 成果・課題及び授業改善のポイント

○成果 ▲課題 ◇授業改善のポイント  
 ※調査結果の詳細については、5及び6の調査結果を参照のこと

国語	算数・数学	理科	質問紙
○ほぼ全ての領域で全国・都の平均正答率を上回った。	○全ての領域で全国・都の平均正答率を上回った。	○小学校では全ての領域、中学校ではほぼ全ての領域で全国・都の平均正答率を上回るか同程度であった。	○主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善の成果が見られる。
▲書写の指導事項の定着に課題がある。 ▲自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。	▲数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。 ▲記述式の問題の正答率が低い傾向にある。	▲実験器具の理解、正しい扱い方に課題がある。 ▲複数のデータ等を関連付け、気象に関する知識及び技能を活用することに課題がある。	▲意見交換の場面でICT機器を活用することや自分の考えをまとめ、発表する場面でICT機器を活用することに課題がある。 ▲中学校では、各教科等で身に付けたことを課題解決に生かす機会を設ける必要がある。
◇書写の学習では、特にめあてを明確にして書くことができるように指導を工夫する。 ◇引用の仕方や出典の示し方について、言語活動を通して確認するとともに、自分の考えを支える根拠として資料を適切に引用する指導の充実を図る。	◇割合が用いられている日常の場面を具体的に想起したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるよう教材や発問を工夫する。 ◇問題の解決方法や図形の性質を自ら考え、数学的な表現を用いて説明する指導の充実を図る。	◇実験を行う際は、器具を使用する目的を理解できるようにするとともに器具の操作にどのような意味があるかを理解できるように指導を工夫する。 ◇複数のデータを関連付けたり、知識を活用したりして問題を解決する探究的な学習の充実を図る。	◇ICT機器を主体的な学び、対話的な学びの充実を図るための手段として活用していく。 ◇カリキュラム・マネジメントをより一層推進し、組織的・計画的に教育活動を行う。

## 5 教科に関する調査結果

### (○実態 ◆全国や東京都の平均正答率を下回った問題)

#### 小学校 国語

分類	区分	平均正答率(%)			
		調布市	東京都	全国	
全体		70	69	65.6	
学習指導要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	72.5	71.4	69.0
		(2) 情報の扱いに関する事項			
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	73.6	75.5	77.9
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	72.2	69.1	66.2
B 書くこと		52.9	51.3	48.5	
C 読むこと		74.8	72.1	66.6	
評価の観点	知識・技能	72.7	72.0	70.5	
	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	68.7	66.2	62.0	
問題形式	選択式	76.8	75.3	71.8	
	短答式	66.7	65.7	63.6	
	記述式	57.0	53.9	51.3	

○14問のうち10問の平均正答率が、全国及び東京都の平均正答率を上回っている。

◆漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる問題

[知・技(3)]

◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

[知・技(1)]

◆話し言葉と書き言葉との違いを理解しているかどうかをみる問題

[知・技(1)]

#### 中学校 国語

分類	区分	平均正答率(%)			
		調布市	東京都	全国	
全体		72	70	69.0	
学習指導要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	76.0	73.6	72.2
		(2) 情報の扱いに関する事項	45.9	43.8	46.5
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	71.8	70.9	70.2
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	68.4	65.7	63.9
B 書くこと		45.9	43.8	46.5	
C 読むこと		71.6	70.8	67.9	
評価の観点	知識・技能	71.7	69.8	69.0	
	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	65.7	63.8	62.3	
問題形式	選択式	77.2	75.3	73.7	
	短答式	72.4	71.2	70.3	
	記述式	60.9	58.2	57.4	

○14問のうち11問の平均正答率が、全国及び東京都の平均正答率を上回っている。

◆行書の特徴について理解しているかどうかをみる問題

[知・技(3)]

◆自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題

[思・判・表(書くこと)]

◆場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題

[思・判・表(読むこと)]

#### 小学校 算数

分類	区分	平均正答率(%)		
		調布市	東京都	全国
全体		70	67	63.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	74.7	72.1	69.8
	B 図形	71.6	68.6	64.0
	C 測定			
	C 変化と関係	59.1	57.6	51.3
	D データの活用	75.7	72.4	68.7
評価の観点	知識・技能	74.0	72.4	68.2
	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	64.1	60.5	56.7
問題形式	選択式	58.9	56.7	51.8
	短答式	82.2	80.6	76.5
	記述式	67.0	62.7	60.2

○16問のうち15問の平均正答率が、全国及び東京都の平均正答率を上回っている。

◆日常生活の場面において、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる問題

[知・技(変化と関係)]

#### 中学校 数学

分類	区分	平均正答率(%)		
		調布市	東京都	全国
全体		57	54	51.4
学習指導要領の領域	A 数と式	62.3	59.5	57.4
	B 図形	49.6	47.6	43.6
	C 関数	48.4	47.1	43.6
	D データの活用	62.6	59.5	57.1
評価の観点	知識・技能	65.7	62.4	59.9
	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	40.4	39.7	36.2
問題形式	選択式	57.8	55.2	52.6
	短答式	71.9	68.2	65.7
	記述式	40.4	39.7	36.2

○14問のうち12問の平均正答率が、全国及び東京都の平均正答率を上回っている。

◆筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる問題

[思・判・表(図形)]

◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題

[思・判・表(関数)]

#### 小学校 理科

分類	区分	平均正答率(%)			
		調布市	東京都	全国	
全体		68	65	63.3	
学習指導要領の 区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	57.0	53.4	51.6
		「粒子」を柱とする領域	63.0	62.4	60.4
	B区分	「生命」を柱とする領域	79.8	77.4	75.0
		「地球」を柱とする領域	71.4	67.7	64.6
評価の観点	知識・技能	63.6	63.6	62.5	
	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	70.0	66.5	63.7	
問題形式	選択式	71.7	69.4	66.8	
	短答式	66.8	67.0	66.2	
	記述式	54.1	49.6	47.3	

○17問のうち15問の平均正答率が、全国及び東京都の平均正答率を上回っている。

◆一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く問題

[知・技(粒子)]

◆メスリンダーの正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる問題

[知・技(粒子)]

#### 中学校 理科

分類	区分	平均正答率(%)		
		調布市	東京都	全国
全体		52	51	49.3
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	44.8	42.8	41.9
	「粒子」を柱とする領域	52.4	51.8	50.9
	「生命」を柱とする領域	63.1	60.1	57.9
	「地球」を柱とする領域	45.1	44.9	44.3
評価の観点	知識・技能	48.1	46.9	46.1
	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	54.0	52.3	51.0
問題形式	選択式	51.6	50.6	49.6
	短答式	25.1	25.3	24.8
	記述式	58.5	55.3	53.5

○21問のうち14問の平均正答率が、全国及び東京都の平均正答率を上回っている。

◆複数のデータを関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる問題

[思・判・表(地球)]

◆科学的に探究する学習場面において、観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる問題

[思・判・表(地球)]

## 【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

※それぞれ1が「当てはまる」、2が「どちらかと言えば当てはまる」、3が「どちらかと言えば当てはまらない」、4が「当てはまらない」になっている。また、肯定的回答の割合は、1と2の割合の合計を表している。

	肯定的 回答	小学校				中学校					
		1	2	3	4	1	2	3	4		
【児童・生徒質問紙】授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	調布市	79.8	33.3	46.5	16.7	3.5	79.7	29.5	50.2	16.7	3.6
	東京都	77.4	32.1	45.3	18.3	4.1	79.8	31.1	48.7	16.7	3.3
	全国	77.3	30.5	46.8	18.7	3.9	79.2	31.2	48.0	17.2	3.5

	肯定的 回答	小学校				中学校					
		1	2	3	4	1	2	3	4		
【学校質問紙】児童・生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。	調布市	85.0	20.0	65.0	15.0	0.0	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	東京都	87.3	20.1	67.2	12.0	0.7	90.8	18.8	72.0	9.2	0.0
	全国	87.2	19.3	67.9	12.4	0.3	87.9	19.2	68.7	11.9	0.1

	肯定的 回答	小学校				中学校					
		1	2	3	4	1	2	3	4		
【児童・生徒質問紙】学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	調布市	83.5	42.2	41.3	11.8	3.8	80.2	35.0	45.2	15.2	3.3
	東京都	80.3	39.7	40.6	14.2	4.2	79.5	34.1	45.4	14.4	4.3
	全国	80.1	37.7	42.4	14.8	4.0	78.7	34.1	44.6	15.1	4.6

	肯定的 回答	小学校				中学校					
		1	2	3	4	1	2	3	4		
【学校質問紙】児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	調布市	95.0	15.0	80.0	5.0	0.0	100.0	37.5	62.5	0.0	0.0
	東京都	83.5	16.1	67.5	16.0	0.3	89.4	22.3	67.1	10.3	0.3
	全国	80.9	15.1	65.8	18.8	0.3	86.2	20.3	65.9	13.6	0.1

	肯定的 回答	小学校				中学校					
		1	2	3	4	1	2	3	4		
【児童・生徒質問紙】各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	調布市	75.8	32.6	43.2	19.2	4.9	71.3	21.0	50.3	23.3	5.3
	東京都	73.9	31.3	42.6	20.7	5.1	69.2	22.7	46.5	25.0	5.6
	全国	72.2	27.9	44.3	22.5	5.2	67.4	22.0	45.4	26.6	5.9

	肯定的 回答	小学校				中学校					
		1	2	3	4	1	2	3	4		
【学校質問紙】各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。	調布市	95.0	25.0	70.0	5.0	0.0	75.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	東京都	87.3	19.2	68.1	12.6	0.0	75.2	13.8	61.4	24.7	0.0
	全国	83.4	16.6	66.8	16.4	0.1	76.6	13.4	63.2	23.1	0.2

## 調査結果のポイント

- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができているか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校では全国・都より高く、中学校では全国より高いが都より低い。また、学校の回答は、小学校では全国・都より低く、中学校では全国・都より高い。
- 「話し合う活動を通して考えを広げたり、深めたりすることができるか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国・都より高い。
- 「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国・都より高い。
- 「各教科等で身に付けたことを、課題解決に生かすことができるような機会を設けたか」との質問に肯定的に回答した学校の割合は、小学校では全国・都より高く、中学校では全国・都より低い。

## 【ICT機器の活用に関する取組状況】

※それぞれ1が「ほぼ毎日」、2が「週3回以上」、3が「週1回以上」、4が「月1回以上」、5が「月1回未満」になっている。また、肯定的回答の割合は、1と2と3の割合の合計を表している。

	肯定的 回答	小学校					中学校						
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
【児童・生徒質問紙】授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。	調布市	88.1	29.6	35.0	23.5	8.3	3.3	93.4	15.7	45.7	32.0	4.2	2.4
	東京都	87.4	31.5	33.9	22.0	8.7	3.7	83.5	20.7	31.9	30.9	12.1	4.3
	全国	83.2	26.7	31.5	25.0	11.5	5.1	80.6	21.6	29.3	29.7	14.2	5.0

	肯定的 回答	小学校					中学校						
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
【児童・生徒質問紙】学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。（インターネット検索など）	調布市	85.9	21.0	36.3	28.6	11.2	2.8	83.1	10.3	30.9	41.9	14.1	2.7
	東京都	83.1	20.4	33.8	28.9	12.1	4.7	75.5	12.8	26.7	36.0	18.2	6.2
	全国	76.1	14.3	29.6	32.2	16.4	7.3	71.7	12.3	24.9	34.5	20.6	7.6

	肯定的 回答	小学校					中学校						
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
【児童・生徒質問紙】学校で、学級の友達（生徒）と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。	調布市	56.5	8.2	18.3	30.0	23.8	19.5	42.1	2.1	8.9	31.1	35.6	22.2
	東京都	56.2	8.6	19.6	28.0	22.7	20.9	43.9	4.3	12.3	27.3	28.4	27.5
	全国	49.4	6.4	16.1	26.9	24.2	26.2	43.5	5.0	12.8	25.7	27.6	28.7

	肯定的 回答	小学校					中学校						
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
【児童・生徒質問紙】学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。	調布市	50.5	10.0	17.5	23.0	32.6	16.7	29.3	3.0	8.0	18.3	39.8	30.6
	東京都	50.7	9.8	17.5	23.4	29.0	20.1	34.8	4.7	10.0	20.1	34.8	30.2
	全国	45.2	6.9	14.8	23.5	28.7	25.8	35.3	4.7	10.3	20.3	32.3	32.3

## 調査結果のポイント

- 「授業で、ICT機器をどの程度使用したか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国・都より高い。
- 「学校の授業中に自分で調べる場面でICT機器をどの程度使っているか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校、中学校ともに全国・都より高い。
- 「学校で、意見交換の場面でICT機器をどの程度使っているか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校では全国・都より高く、中学校では全国・都より低い。
- 「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面でICT機器をどの程度使っているか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校では全国より高いが都より低く、中学校では全国・都より低い。